Media Five Co.

中期経営計画2025

2022年7月

メディアファイブ株式会社

アジェンダ

① はじめに

② 新三ヶ年中期経営計画について
- 計画名について
- ロードマップ

③ 事業紹介
- SES事業
- SI事業
- 中小企業向けIT支援事業
- 無料プログラミング研修

④ トピック紹介

⑤ ESG・SDGsの取組み

©メディアファイブ株式会社

①はじめに

2020年1月に国内最初の感染者が確認された
『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）』の流行よるコロナ禍は、
世界中の経済状況に打撃を与え、前期（第26期）が最終年度だった
当社の前中期経営計画も、そのあおりを受け目標未達で幕を閉じました。

また、コロナ禍は採用活動にも影響を及ぼしており、これまでのビジネスモデルのままでは
今後の売上予想が明るいとは言い難い状態にあります。

つきましては、第27期（2023年5月期）を初年度とする、
第29期（2025年5月期）までの新三ヶ年中期経営計画を策定し、ここに開示いたします。



©メディアファイブ株式会社

②新三ヶ年中期経営計画について

DXリベンジャーズ 2025

©メディアファイブ株式会社

計画名について

今期を初年度とする第27～29期（2022年6月～2025年5月）の

新三ヶ年中期経営計画を**『DXリベンジャーズ 2025』**と命名しました。

- ✓ **DXとは**
  - Digital TRANSformationの略で、直訳すると「デジタルによる変容」となります。
- ✓ **ITとDXの違い**
  - IT化では、情報技術を用いて「ビジネス」や「生活」の効率化＝量的変化を目指します。
  - DX化では、デジタル技術を用いて「ビジネスモデル」や「生活様式」の変容＝質的変化を目指します。
  - IT化は手段の一つであり、DX化は目的そのもの、と考えます。
- ✓ **何に対してのリベンジか**
  - バックオフィス業務を含めてビジネスモデルから変革させることで、
    コロナ禍で暗い影を落とした経済状況に対して当社はリベンジを果たします。
  - 地理的な理由で「ITエンジニアになる」という夢を諦めていた転職希望者が、
    その人生にリベンジを果たせる環境を当社が提供します。

©メディアファイブ株式会社

ロードマップ（単体）

	第27期 2022/06～2023/05	第28期 2023/06～2024/05	第29期 2024/06～2025/05
SES事業	売上 1,637,730千円	売上 1,761,814千円	売上 1,838,704千円
SI事業	売上 20,000千円	売上 40,000千円	売上 80,000千円
中小企業向けIT支援事業	売上 58,872千円	売上 70,000千円	売上 85,000千円
売上高合計	1,716,603千円	1,871,814千円	2,003,704千円
営業利益	15,249千円	39,677千円	60,417千円
経常利益	14,683千円	39,111千円	59,852千円
「WEBの虎」の拡大目標 ※12ページを参照	WEB研修システム完成	WEB研修システムによる輩出	WEB研修システムの拡大

©メディアファイブ株式会社

中期経営計画目標数値（連結）

	2023年5月期	2024年5月期	2025年5月期
売上高	1,849,603千円	2,004,815千円	2,136,704千円
営業利益	16,248千円	40,678千円	61,418千円
経常利益	15,682千円	40,112千円	60,852千円
親会社株主に帰属する当期純利益	12,033千円	32,798千円	50,428千円

©メディアファイブ株式会社

③事業紹介

©メディアファイブ株式会社

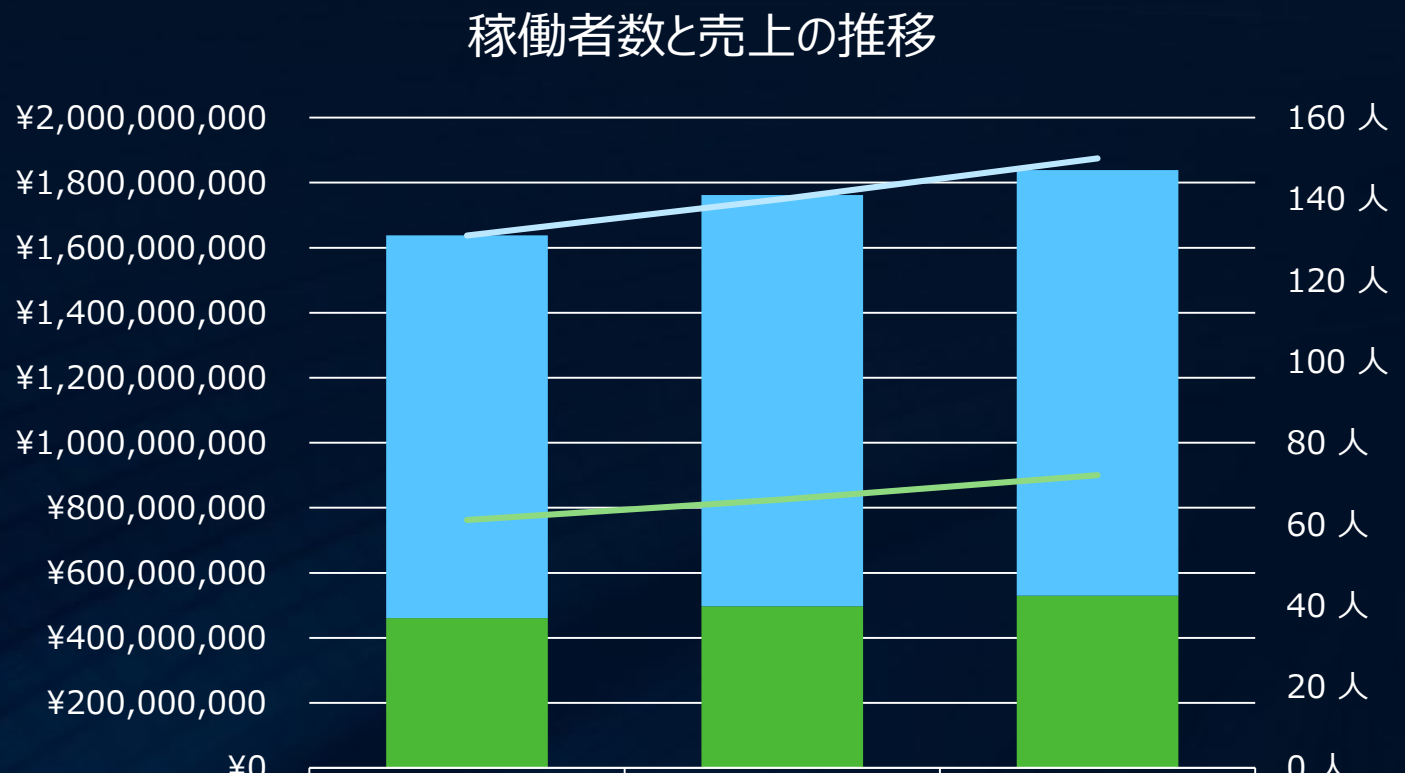
SES事業

System Engineering Service

SESとは、情報システムの
開発・保守・運用などの特定業務に対して
技術者を派遣する技術支援サービスです。

当社では2000年の開始以降、
20年に及ぶ歴史があります。

無料プログラミング研修によって、
未経験者を一人前のプログラマーに育成して現場に輩出し続けられる当社の強みを活かし、
人材の増員と売上高の拡大を目指します。



	27期	28期	29期
東京売上	¥1,176,882,687	¥1,264,460,539	¥1,309,137,828
福岡売上	¥460,848,166	¥497,354,106	¥529,566,667
東京稼働者数	131 人	140 人	150 人
福岡稼働者数	61 人	66 人	72 人

©メディアファイブ株式会社

SI事業
System Integration

SIとは、情報システムの
開発・保守・運用などを一貫して請け負う
受託開発サービスです。

1996年の創業以降、
九州・福岡エリアで重ね続けた実績を基に
東京エリアにも本格的に進出いたします。

社内の営業力を集約・強化し、
売上高の拡大を目指します。



	第27期	第28期	第29期
東京売上	¥10,000,000	¥20,000,000	¥40,000,000
福岡売上	¥10,000,000	¥20,000,000	¥40,000,000

©メディアファイブ株式会社

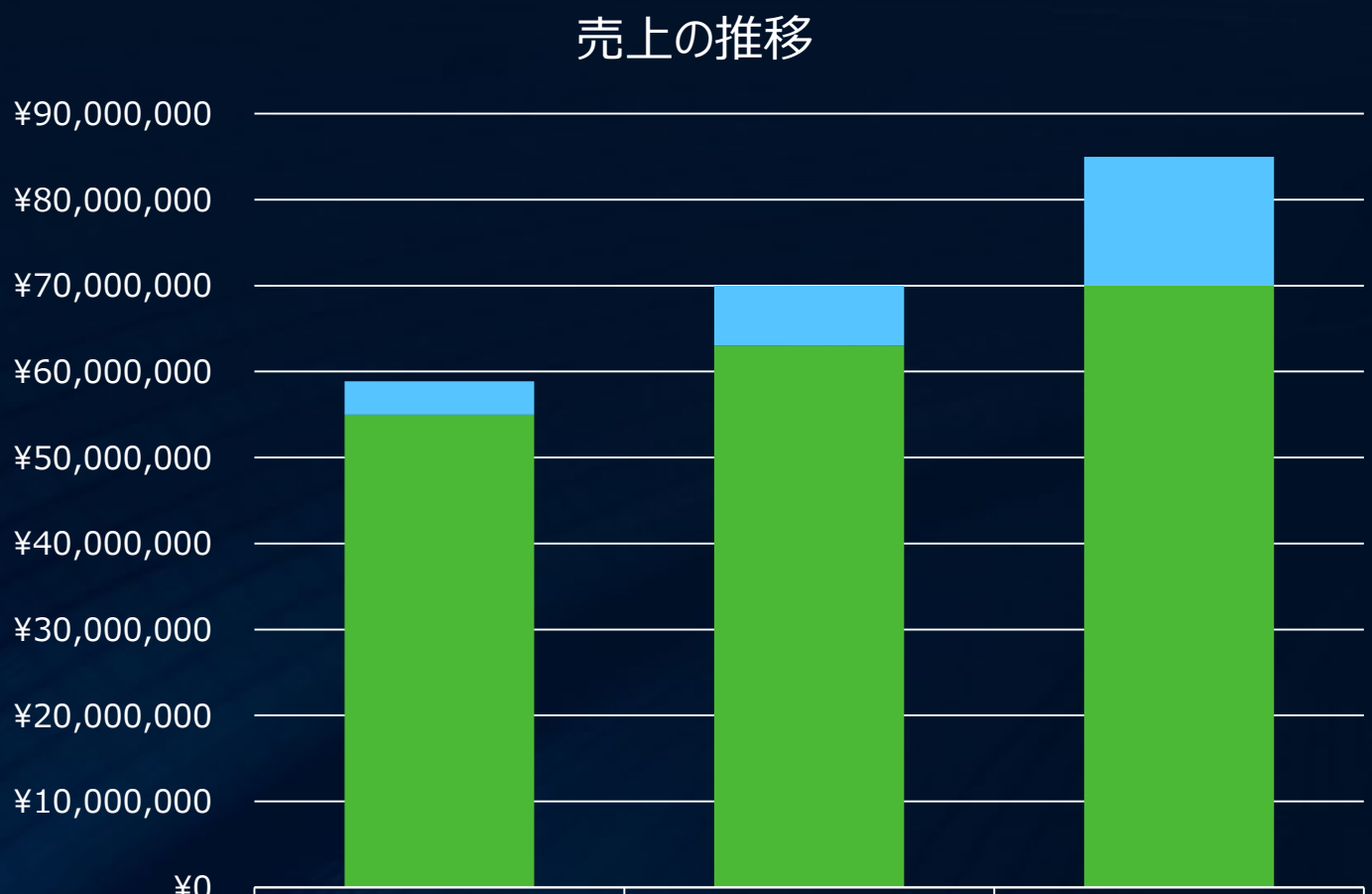
OFFICE DOCTOR

中小企業向けIT支援事業
『オフィスドクター』

『オフィスドクター』とは、月額制で始められる
情報システム部門のアウトソーシングサービスです。

2010年の開始以降、九州・福岡エリアの
会社さまを中心に10年以上の歴史があり、
月間100社ほどの実績を基に
東京エリアに本格的に進出いたします。

既存のPCやサーバーなどの
ハードウェアと相性の良いセキュリティ製品など、
ラインナップを強化し売上の拡大を目指します。



	27期	28期	29期
東京売上	¥3,872,000	¥7,000,000	¥15,000,000
福岡売上	¥55,000,000	¥63,000,000	¥70,000,000

©メディアファイブ株式会社

無料プログラミング研修

「虎の穴」とは

IT業界の未経験者（若者や転職希望者）に
無料提供している当社独自のプログラミング研修です。

2001年の開校以降、300名以上の未経験者を
IT業界に輩出し続けてきた実績があります。

なお、研修ではプログラミング技術だけでなく、
セカンドチャンスを掴むための社会人としての
教育的支援も行っています。

「WEBの虎」とは

左記の「虎の穴」は、
当社オフィスに登校する形式で行ってまいりましたが、
昨今の世界的疫病の蔓延による新しい生活スタイル、
特にテレワークなどの働き方改革が導入され、
距離という物理的制限に縛られない
新しいワークスタイルが可能となってきました。

この社会状況を鑑みて、
遠隔地においても「虎の穴」同様の研修を受講できる、
eラーニング（オンライン研修）形式の
「WEBの虎」を開校し全国に展開することを目指します。

©メディアファイブ株式会社

「WEBの虎」

「WEBの虎」を全国的に展開することによって

- ✓ **東京一極集中による地域格差解消**
- ✓ **チャンスの少ない未経験者のIT業界への参入**

などを実現できる仕組みづくりを目指します。



©メディアファイブ株式会社

④トピック紹介

©メディアファイブ株式会社

人材採用の拡大

✓ 会社説明会のオンライン化

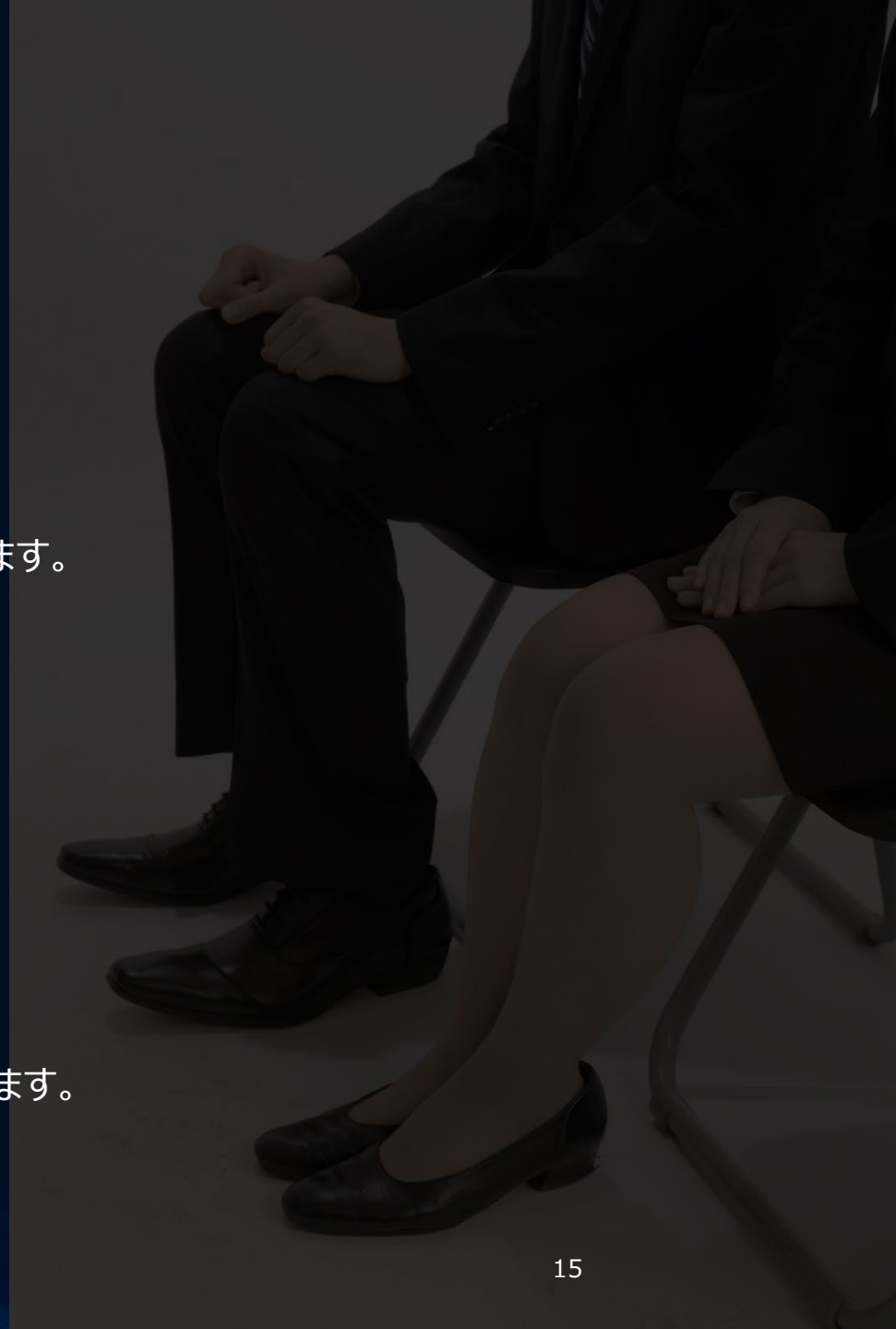
2022年より、新卒向け会社説明会などを、
会場とオンラインのライブ配信を同時に行うハイブリッド形式で開催しています。

✓ 新卒採用の拡大

2022年より、東京採用での新入社員も入社。
引き続き東京エリアでの採用活動を強化します。

✓ 研修卒業生の正社員登用の拡大

2022年より、東京での「虎の穴」卒業生も正社員として入社。
今後は、全国が対象となる「WEBの虎」卒業生の正社員登用も期待します。



©メディアファイブ株式会社

プログラミング研修の強化・拡大

研修カリキュラムの強化

✓ **研修カリキュラムの情報システム化**

20年以上の歴史がある当社独自の研修カリキュラムを
eラーニング（オンライン研修）化する取り組み。
2022年5月に一次リリース。

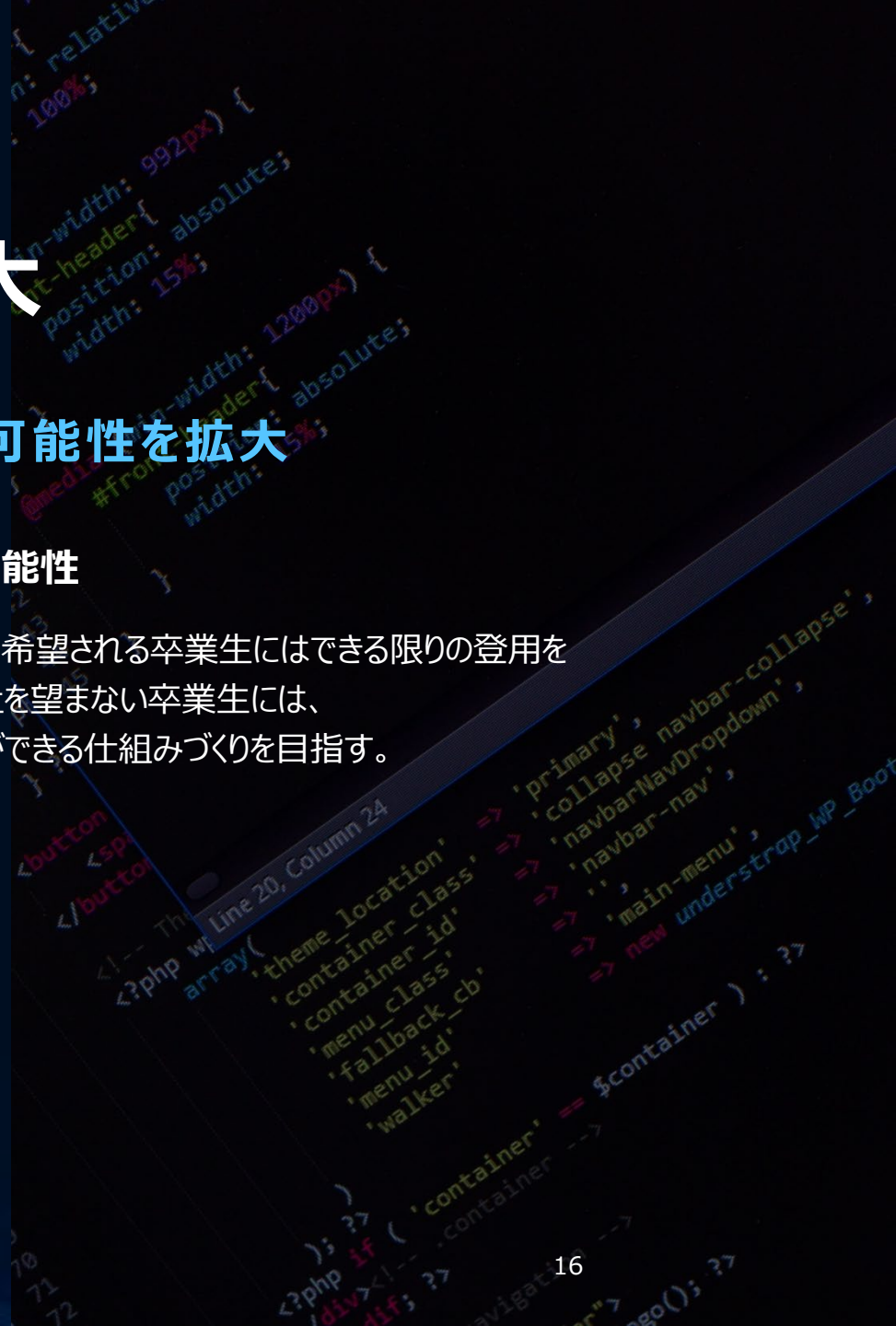
✓ **「WEBの虎」を開校**

まずは、東京オフィスで行っている
「虎の穴」研修をeラーニング（オンライン研修）化。
その後は全国への順次展開を目指す。

研修生の可能性を拡大

✓ **卒業生の可能性**

当社に入社を希望される卒業生にはできる限りの登用を
当社への入社を望まない卒業生には、
他社の紹介ができる仕組みづくりを目指す。



©メディアファイブ株式会社

社内コミュニケーションの強化・拡大

ZOOMの活用

✓ Zoomの統制

無料ユーザーを含めて会社の管理下に統合し
ライセンスの効率的な運用や、利用状況の監視が可能。

✓ Zoom ウェビナーでの会議開催

会場とライブ配信のハイブリッド形式などで開催を実施し
全社会議などに自宅からの出席が可能な形態。

✓ Zoom Phoneの導入

全社員にIP電話の内線番号を付与。
社員間の私用携帯電話の番号交換が不要。

チャットツールやウェブ社内報の構築

✓ チャットツールの導入

自社サーバーにビジネスチャットのシステムを構築・導入し、
LINEなどで、会社が統制できないシャドーIT問題や、
社員のプライベートの確保を解決。

✓ ウェブ社内報の導入

社員の私用スマートフォンなどでも閲覧可能な、
Web形式の社内報を構築・導入。
各事業部の月次報告から趣味の社員コラムなど、
月間30ほどの幅広い記事が投稿されており、
社内広報ツールとして活用中。

©メディアファイブ株式会社

組織力や離職対策の強化

人事評価制度の刷新

2021年に人事評価制度を全面的に改定し、さらに新制度を完全に情報システム化済み。

定量的なポイント制を軸にしたことで、考課を「見える化」し平等で明朗な制度を実現。
優秀で模範的な社員が納得して働ける環境に。

さらに、会社のビジョンを評価項目で表現することで、
会社とベクトルが揃った**社員の成長ひいては組織力の強化を目指す**。



©メディアファイブ株式会社

企業主導型保育園
「メディアファイブ保育園 薬院」

企業にとって欠かせないもの、それは「人材」ではないでしょうか。

近年、よりよい人材を確保し、その能力を最大限に発揮してもらう環境づくりとして、
事業所内保育園を整備する企業が増えております。

メディアファイブ保育園は、事業所内保育園として整備された企業主導型保育園です。

社員が抱える「保育園の確保」や「保育料」などの悩みを取り除くことで、
安心して働ける環境を提供でき、「従業員満足度の向上」「離職率の低下」
ひいては「優秀な人材の確保」につながると考えております。

メディアファイブ保育園は、子育てと仕事を両立するお父さんお母さんを応援しています

メディア
ファイブ
ほいくえん
薬院

©メディアファイブ株式会社

⑤ESG・SDGsの取組み

メディアファイブは、豊かな社会づくりに向けて提唱されている
「ESG（環境・社会・ガバナンス）」の観点からも様々な取り組みを行って参ります。
また、国連が主導する「持続可能な開発目標（SDGｓ）」にも積極的に取り組み、
社会の一員としての責任を果たしながら、持続可能な社会の実現に向けて貢献して参ります。

©メディアファイブ株式会社



©メディアファイブ株式会社

Environment
環境

ITを通じた地球環境の保全

- ✓ 企業の生産業務における
  最適化ソリューションの提供による
  環境負荷低減

環境負荷を低減する活動

- ✓ ITソリューションにおける
  仮想化サーバの推進
- ✓ 電力、紙資源等の
  省資源に寄与する活動



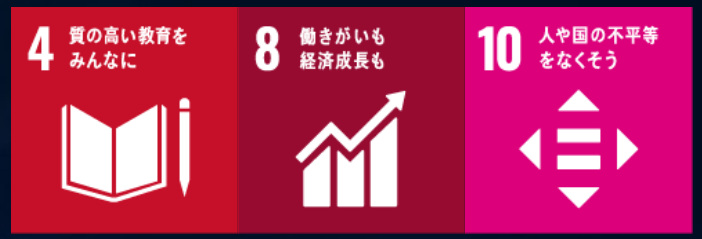


©メディアファイブ株式会社

Social
社会

高度IT教育の提供
および高度IT人材の育成

- ✓ eラーニング（オンライン研修）の全国展開
- ✓ 児童養護施設など経済的弱者への
  プログラミング研修の提供と就職斡旋
- ✓ 高度IT人材を必要とする企業との連携



音楽を通してウェルネスを醸成し
健康と福祉に貢献

- ✓ 各地の高齢者及び障害者施設等における
  音楽演奏会の開催



©メディアファイブ株式会社

Governance
ガバナンス

コーポレートガバナンス・コンプライアンスの強化

- ✓ 取締役会、監査役会等におけるガバナンスの強化



©メディアファイブ株式会社

Q-Board

メディアファイブは、2006年より福岡証券取引所の『Q-board』に単独上場しています。



メディアファイブは、日本産業規格「JIS Q 15001個人情報保護マネジメントシステム－要求事項」に適合して、
個人情報について適切な保護措置を講ずる体制を整備している事業者として『プライバシーマーク』の認証を受けています。



メディアファイブは、情報セキュリティを「情報資産に対する機密性、完全性、可用性の維持」と定義するとともに、
情報セキュリティマネジメントシステムの確立とその維持、向上に努めている事業者として『ISMS』の認証を受けています。
（認証範囲：ソリューション事業）

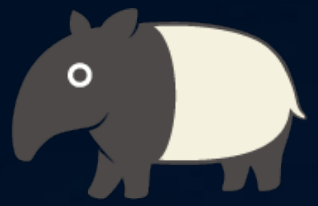
ORACLE | Partner

メディアファイブは、日本オラクル社とパートナー契約を締結し、『OPN（Oracle PartnerNetwork）』に加盟しています。



メディアファイブは、「中小企業の生産性を高めるためのITツールを提供するITベンダー等のIT導入支援者」として
経済産業省より『スマートSMEサポーター』の認定を受けています。
また、内閣府を中心に官民一体で進める『地方創生テレワーク推進運動』に参加しています。

©メディアファイブ株式会社



メディアファイブ株式会社

本発表の情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。
これら見通しを実現できるかどうかは、様々なリスクや不確実性などに左右されます。
従って、実際の取り組みや業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

♡ www.media5.co.jp

♡ www.system-kaihatu.com

♡ www.office-otasuke.com

お問い合わせは、下記のメールアドレスまでご連絡ください。

✉ ir@media5.co.jp

©メディアファイブ株式会社